

東日本大震災小児医療復興新生事務局会議記録

1 日 時 平成 24 年 12 月 20 日（木） 13 時 25 分～15 時 55 分

2 場 所 宮城県庁保健福祉部会議室（7 階）

3 出席者（9 名）東京都立小児総合医療センター 救命・集中治療部 集中治療科医長 齊藤 修
岩手県立大船渡病院 小児科 副院長 瀧向 透
福島県 保健福祉部地域医療課 主幹兼副課長 下重 修
主任主査 本多由美子
宮城県 保健福祉部医療整備課 医療政策専門監 大久保久美子
課長補佐（総括） 千葉 伸
主 事 二宮雄大
岩手県 医師支援推進室 医師支援推進監 今野秀一
参 与 細川孝夫

4 次 第（進行：今野秀一 岩手県医師支援推進室医師支援推進監）

(1) あいさつ ①細川孝夫 岩手県医師支援推進室参与

②齊藤 修 東京都立小児医療総合センター 救命・集中治療部 集中治療科医長

(2) 紹 介 各自自己紹介

(3) 議 事

① 各県の被災状況及び受け入れ医療機関の状況について（報告）

ア 説 明（各県説明内容省略）

・福島県 下重 修 保健福祉部地域医療課主幹兼副課長より説明

資料：「避難指示区域と警戒区域内の医療機関等の状況」

「病院における医師の勤務状況」

「病院における看護職員の就業状況」

・宮城県 二宮雄大 保健福祉部医療整備課主事より説明

資料：「石巻市夜間急患センターの診療を再開！」

「宮城県沿岸部の医療機関再開状況」

「石巻急患、日赤病院に集中（新聞）」

・岩手県 瀧向 透 岩手県立大船渡病院副院長より説明

イ 質 疑

一部報告内容に対する質問が出された。

② 岩手県におけるこれまでの受け入れ状況について（報告）

ア 資料「小児科医師支援の状況（岩手県医師支援推進室受付分その1）及び（その2）」に基づき説明（岩手県提出、説明内容省略）

イ 質 疑

・期間の長短もあるが、中には2度目、3度目の医師がいることや正規常勤の医師も含まれることなどの報告があった。

・また、一部報告内容に対する質問が出された。

③ 支援申し出をいただいた後の流れについて

ア 説明

資料「支援の申し出をいただいた後の流れについて（案）」（岩手県提出、説明内容省略）

イ 質疑

- ・応募医師との調整にあたっては、統一フォーマットを作成した方が良いとの提案があり、宮城県でたたき台を作成することとした。
- ・連絡締切の期日（限）についての要望が出された。
- ・スピードが大切であることが強調された。
- ・応募に対する調整にあたっては、柔軟に対応していくこととした。
- ・一部、質問、意見が出されたが、基本的に提出の案が了承された。

④ 募集要項について（記載内容、公表日、処遇等）

- ・候補とする病院について、追加の要望が出され柔軟に対応していくこととした。
- ・他事業や施設のホームページとのリンクについて要望が出され、当面は予定どおりとするが、次回のリニューアル時に検討することとした。
- ・その他文面の追加、文言の修正が提案され、修正後にホームページを作成することとした。

⑤ その他

- ・年度内に再度（3月の県議会当該審査終了後：別途日程調整）会議を開催し、検証、今後の在り方等について検討することとした。
- ・今後の推進にあたっての宣伝的なアイデアの提案についても話題があった。

本日の会議をもって、正式に「東日本大震災小児医療復興新生事務局」が発足し、活動が開始された。